

安塚区樽田の雪室、再建するも冷房機能つけず

残念なことになりました。安塚区樽田で再建する雪中貯蔵施設について、市は検討の結果、冷房機能を持たせることはできないと結論づけたのです。これは3月議会総括質疑（右の写真は総括質疑風景）及び農政建設常任委員会審査の中で明らかにされました。

3月4日の農政建設常任委員会では、委員会の開始直後、野口副市長から、「委員会での要望を受けて専門家の意見を踏まえ再検討したが、雪室本来の貯蔵機能を低下させてしまうことを回避するには、貯蔵と冷房をそれぞれ別に建設する必要がある。結果として想像以上の建設費用がかかることを確認した。これまでの安塚の克雪、利

雪の思いは継承しつつも、多額の費用をかけて雪冷房の施設を建設することはコンセプトと相いれない。各委員から理解してもらいたい」と発言がありました。

これを受けて委員会では市新年度の予算内容の審査の中で何人かの委員が、「本来であれば、元々あったものを復元すべきもの。いい結果が出るものと報告を待っていた。（結果には）大変ショックを受けた。経緯をしっかりと説明してもらいたい」「総括質疑で市長は雪冷房の施設を別途造るなら1億円以上かかると答弁した。もう少し具体的に教えてもらいたい」と質問しました。委員会に所属してい



私も、「雪冷房について、前回の委員会では全会一致で検討を求める声が出た。専門家の意見をもっと聴くべきだ。雪冷房の技術はここ20年程の間に進歩している。北海道では450万円です。図書館を冷房する計画を持っている市もある。もう少し検討の時間を与えてほしい」と訴えました。

市側は決めた方針を固持し、譲りませんでした。

佐々木寛共同代表がこれからの市民と野党の共闘語る

市民連合・上越主催の「どうする？新潟県議選！」

集会が6日の夜、開催されました。

市民連合@新潟共同代表の佐々木寛さんが基調報告し、参加者とやりとりするという形の集会でしたが、市民と野党の共闘をどう進めていくか、県政をどう変えていくかが見えてくる集いとなりました。

佐々木さんはまず、「上越は『奇跡の新潟』の中のセンターだ。県知事選で負けたことで、多くの人たちが反省し、本気の共闘でなければ勝てないことが明らかになった」とのべました。そして、ここ数年の間に新潟県で行われた国政選挙、県知事選の流れ、特徴などに触れながら、市民と野党の共闘がどのように進化していったかを裏話を含め、明らかにしました。

これまで肌が合わなかった政党や組織間でどうやって信頼関係を作っていくか。フェイスツウフェイス（差し向かい）で個人を引きだしていく、（組織の間として見るのではなく）裸のひとりの人間としてふれあい、関係をつくることが重要、など参考になることがいくつもありました。



【ヤマアカガエル】アカガエル科のカエルの1種。漢字で「山赤蛙」と書きます。ニホンアカガエルと似てはいますが、背側線が違います。ヤマアカガエルの方は曲がっています。ニホンアカガエルの方は真っすぐです。3月2日撮影。



おかげ様で1900号

「はしづめ法一の活動レポート」は今号で1900号に到達しました。

1985年（昭和60年）6月2日に創刊。以後、毎週発行を続けてきました。34年間、発行を継続することができたのは読者の皆さんによる物心両面にわたるご支援です。心から御礼申し上げます。

まだまだ不十分なところがありますが、市民のみなさんの暮らしに役立つレポートとして、さらに発展させ、2年後には2000号に到達すべく頑張っています。今後とも、あたたかいご支援、よろしく願います。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1900 2019.3.10

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五四八回 春のプレゼント

今年の春は早足でやってきています。そんなに急がなくてもいいよ、と言いたくなりますが、早ければ早いなりにうれしいものです。

先日、直江津の朝市でネコヤナギを売っているお母さんがいました。いつもは漬物や野菜、餅などを売っているのですが、時どき、季節を感じさせてくれる、木に咲く花を売っています。一月も黄色い花をつけた蠟梅を売っていました。

このお母さんが今回売っていたネコヤナギは花穂に少し赤みがあるもので、園芸種かと思います。このネコヤナギを見たおかげで、吉川の川沿いでもネコヤナギが花をつけ始めたかもしれないと思いました。

それで私は、吉川区に戻ってまもなく、家の近くを流れる吉川の水辺まで行ってみました。吉川橋の上流二〇〇メートルほどのところで、ここでは以前にもネコヤナギを取ったことがあります。何よりも日当たりがよく、春の早い段階で花を咲かせます。

車を止めて、川のそばまで下りていくと、ヤナギの木は思っていた以上に背が高くなっていました。高いものは二層を軽く超えています。ただ、私の子ども時代、蜷場の下の方の釜平川にあった、背が低く、木肌が緑っぽいネコヤナギの木は、残念ながら、見当たりませんでした。

そんななかでも、川の流れの方に枝を伸ばしている一部の木に目を向けると、白っぽい玉のようなものがついているのを確認できました。長年の勤ですぐにネコヤナギの花穂だとわかりました。自然の中のネコヤナギも咲いていたのです。

携帯のカメラとデジカメを使って写真撮影をした後、私は、花穂が七、八個ついている、とてもかわいい枝を二本だけ折らせてもらいました。持ち運びがしやすいよう

にと、長さは三〇センチにしました。

じつは、ネコヤナギを渡し、見せたい人の数日後、新潟市で同窓会が開催されることになっていました。そこで渡せば、必ず喜んでくれる人がいたのです。

水辺には五、六分くらいいたでしょう。その後、私はネコヤナギの枝を二本持って土手をゆっくり上がりました。

上がって市道に出たところで、ちょうど散歩中の人と出会いました。すぐ隣の町内会に住むY子さんと娘さんの二人です。

私がネコヤナギの枝を持っていたのを目にした二人はすぐに、「わー、もう出ているんですか」と言いました。春が来たことを告げてくれるネコヤナギを見てうれしくなるのはみな同じですね。私は、取ったばかりのネコヤナギをこの二人にあげることにしました。ネコヤナギを手にした二人は、「いいんですか」と言いながら、終始、笑顔でした。

Y子さんたちとの話は直江津の朝市でネコヤナギを見たことから始まり、子どもの頃、見て、触って遊んだネコヤナギのことに及び、さらには既に亡くなったお互いの父親の酒造りのことまで広がりました。

さて、数日後の新潟市での大学同窓会。四十数年ぶりで再会した人が何人もいました。すっかり髪がうすくなって、すぐには誰だか思い出せない人もいました。

会で自己紹介する際、私は「きょうはプレゼントを持ってきました」とのべて、その日、取ってきたばかりのネコヤナギを一人の女性のところへ届けました。愛知県で坊主をしているCさんです。Cさんは一瞬、「えっ」という表情をし、すぐ笑顔になりました。この時期、春の到来を告げるプレゼントは感動、笑顔につながります。

市内各中学校で感動の卒業式

4日、5日と市内の名中学校で卒業式が行われました。私は案内をもらった吉川中学校の式典に出してきました。

今井校長が卒業生に送ったはなむけの言葉は、渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」でした。人生には様々な場面がある。その場でその場で精いっぱい取り組み、自分の花を咲かせる。大事なことです。

恒例となった卒業生による全員合唱は綾香の「にじいろ」。これ



から始まるあなたの物語、、、。素敵な合唱でした。

市内の中学校の中にはアカペラで「仰げば尊し」を歌ったところもあったとか。素晴らしい。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月27日(水)	3月6日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.057	0.060
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.057
名立分遣所	0.050	0.057

春を呼ぶ、新酒を楽しむ会



吉川区の遊ランドで恒例の新酒を楽しむ会がありました。

しぼりたての新酒がメインですが、ものすごくやさらかいいノシシの肉など美味しい料理も堪能させてもらいました。料理の中には食べることでできない素敵な「春」もありましたよ。